

令和2年11月2日

Press Release

富山市
福祉保健部 保健所保健予防課
結核・感染症係
電話 428-1152 (直通)

腸管出血性大腸菌（^O26）感染症患者の発生について

このことについて、次のとおりお知らせします。

記

1 患者の発生状況

- (1) 患者 市内在住の女性（20歳代）
- (2) 経緯 10月23日 下痢、腹痛が出現した。
26日 医療機関Aを受診した。
血便が出現した。
27日 医療機関Bを受診、入院した。
30日 腸管出血性大腸菌O26（VT1）感染症と診断された。
- (3) 症状等 入院加療中。快方に向かっている。

2 患者及び感染源調査

- (1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- (2) 患者の健康状況調査を実施

3 対応

- (1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施
- (2) 患者自宅等の消毒を指示

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況【参考】

別紙のとおり

予防対策について

- 食べ物は十分加熱しましょう
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
- 手洗いと消毒を徹底しましょう（調理の際、食事の際、トイレの後など）
- 下痢等の症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けましょう

(別紙)

【参考】

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（患者数）

	2020年	2019年 同時期延べ数	2019年 総数
	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)	県内 (うち市内)
O157	15 (8)	16 (3)	17 (3)
O26	6 (本事例を含む) (5) (本事例を含む)	9 (5)	9 (5)
O91	2 (0)	1 (1)	1 (1)
O103	1 (1)	0 (0)	0 (0)
O100	1 (1)	0 (0)	0 (0)
O8	0 (0)	1 (1)	1 (1)
血清型不明	3 (1)	0 (0)	0 (0)
O182	0 (0)	1 (0)	1 (0)
O76	0 (0)	1 (0)	1 (0)
O87	0 (0)	1 (0)	1 (0)
腸管出血性 大腸菌感染症 計	28 (16)	30 (10)	31 (10)